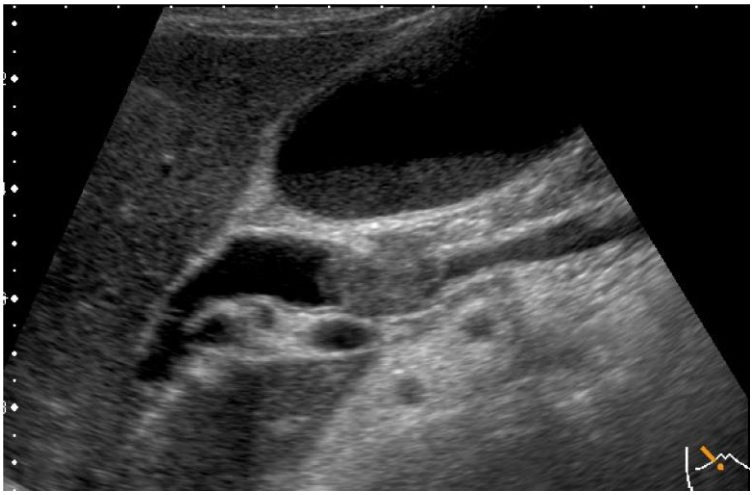
令和７年度

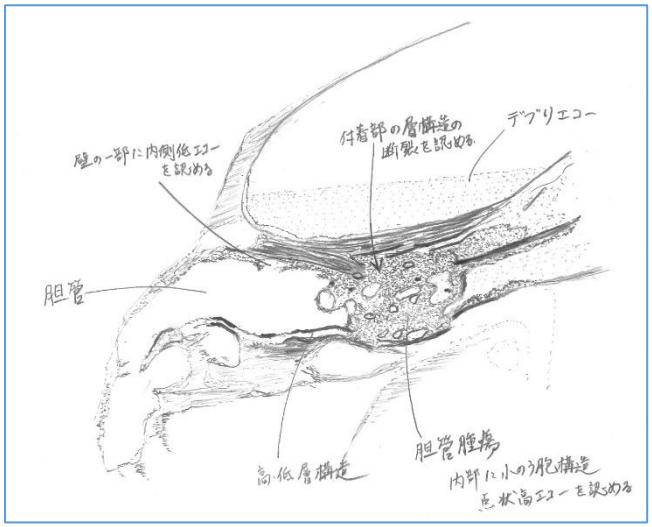
腹部超音波検査における症例画像の推奨シェーマと有所見例記入（シェーマ・所見等）上の留意点

公益社団法人　全国労働衛生団体連合会

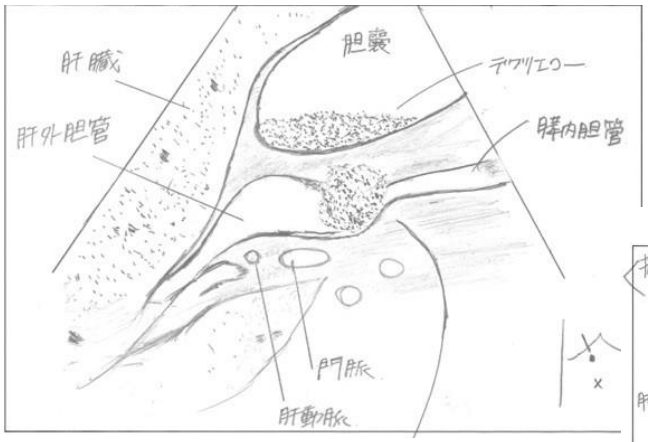
腹部超音波検査専門委員会

- 撮像の際の留意点
  - 病変の全体像と占拠部位がわかる画像を撮ってください。
  - 少なくとも２方向から撮像した画像を提示してください。
  - 病変だけではなく背景となる臓器も撮像してください。
  - 被写体の詳細が分かるように、しっかり拡大して表示してください。
  - フリーズ後の拡大ではなく拡大観察した画像をフリーズして提示してください。
  - 計測値の少数点以下は四捨五入しミリ単位で記載してください。
  - 計測（メジャー）の入っていない画像も必ず入れてください。
  - 可能なかぎり高周波プローブやドプラ機能のある超音波診断装置で検査を施行し、血流評価が診断に有用な症例の場合はドプラ画像を入れてください。
  - 観察する臓器や病変に合わせフォーカスを適切に調整してください。
  - 所見を評価するために必要と思われる画像に絞って提出してください。
- 所見記載の際の留意点
  - 腹部超音波検診判定マニュアル改訂版（2021 年）の所見に準拠して所見を記載してください。
- シェーマ作成の際の留意点
  - 超音波画像を忠実にスケッチし、超音波画像所見も記載してください。
  - 超音波画像を白黒反転し、エコーの出現している部分（白い部分）を「黒」、無エコー域は「白」にスケッチしてください。
  - 腫瘤像の強い境界エコーや増強した後方エコーは輝度に応じて「黒～灰」にて記載してください。
  - 記入はＢの鉛筆かシャープペン、又は黒のボールペンを用いて明瞭に記載してください。
- 検査開始時間と終了時間、検査全体のコマ数を記入してください

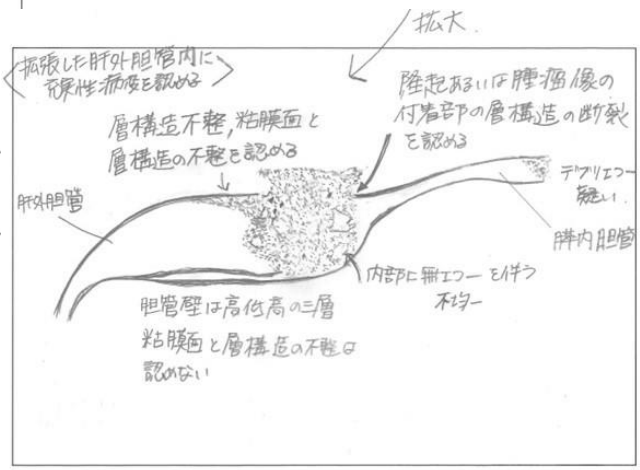


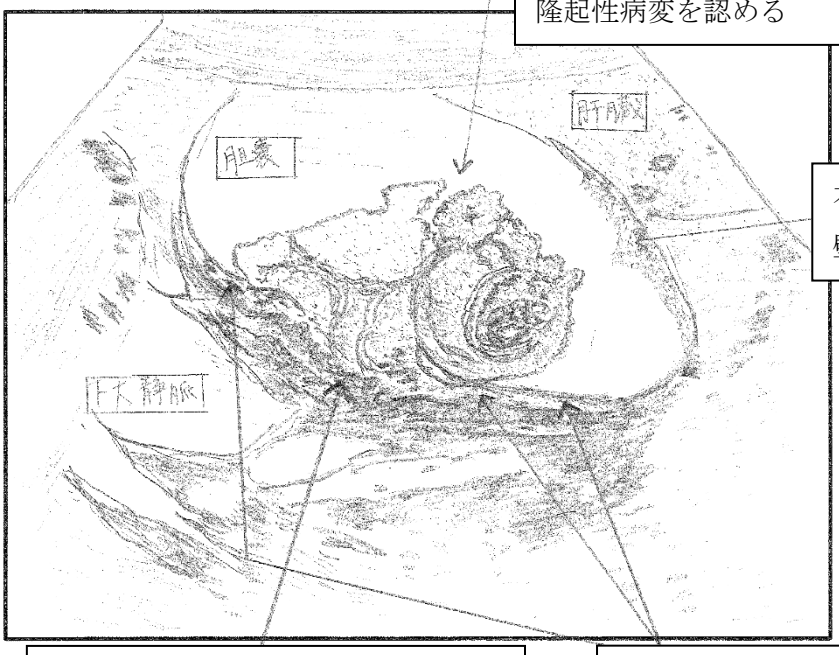

壁の一部に内側低エコーを認める
付着部の層構造の断裂を認める
デブリエコー
胆管
高低層構造
胆管腫瘍
内部に小のう胞構造
点状高エコーを認める

シェーマ①


肝臓
胆嚢
デブリエコー
肝外胆管
膵内胆管
門脈
肝動脈

シェーマ②


拡大
拡張した肝外胆管内に
充実性病変を認める
層構造不整，粘膜面と
層構造の不整を認める
隆起あるいは腫瘤像の
付着部の層構造の断裂
を認める
デブリエコー
疑い
肝外胆管
膵内胆管
内部に無エコーをともなう
不整
胆管壁は高低高の三層
粘膜面と層構造の不整を
認めない



胆嚢体部に茎の太い有茎性隆起性病変を認める

不規則な壁の肥厚

病変付着部の外側高エコー層は不規則である。（漿膜下層への浸潤疑い）

病変周囲の胆嚢壁の内側低エコー層は肥厚している。（腫瘍の表層進展疑い）